

News Release

2009 年 4 月 4 日

株式会社日本政策投資銀行

『九州における“PVクラスター” 創出へのヒント』を作成

～九州の太陽電池産業の現状と課題～

株式会社日本政策投資銀行（社長：室伏稔、以下、「DBJ」という）は、このたび「九州における“PVクラスター”創出へのヒント～九州の太陽電池産業の現状と課題～」と題した調査レポートを作成いたしました。

世界の太陽電池市場は、欧州を主体とした旺盛な需要等を背景に、急成長が続いています。国内においても、近時政府が打ち出した普及支援施策の後押しなどを受け、市場拡大への期待が高まっています。

本レポートでは、太陽電池市場の国内外、九州での最新の動きについてサーベイするとともに、九州において芽吹き始めた太陽電池産業が、半導体・自動車に続く強固な産業集積“PVクラスター”として育っていく可能性について、具体的に考察したものです。

資料をご希望の方は、同ウェブサイト「地域・海外レポート（九州）」に掲載しておりますので、ご参照下さい。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決で、お客様の信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、地域のお役に立てる情報発信を積極的に行って参ります。

【お問い合わせ先】

九州支店 企画調査課 電話番号 092-741-7737